資料６

八尾市外国人市民のための子育てチャートリーフレット

事業概要：これまでの外国人市民会議の中で、外国人市民にニーズは高いが情報が行き届いていない、と指摘されていた出産や健診、保育園入園等の子育てに関する情報を掲載したリーフレットを作成し、外国人市民が子育てしやすい環境を整えることを目的に作成する。

これまでの外国人市民会議の中で出た子育て等に関する意見：

- 外国籍の方は孤独を感じやすい環境にあるので、似たような経験や悩みを共有できる場として、小さな子どもをもつ外国人の親が集まるようなところがあればよいと思う。
- 家でおやつばかりを子どもに食べさせている家庭もあるようなので、教育の一環として親への指導が必要だと思う。
- 子育てにおいて、進学等の重要な場面で、十分な情報を得られていないことがあり、学校を含めて適切な対応が必要である。
- 外国人市民が出産後の早い段階で手続きに来庁した際に、保育所、幼稚園に関する案内を渡したり、保育所で年長の保護者に放課後児童室の案内を渡したりしてはどうか。
- 外国人市民が多い保育所には通訳者が常駐しているが、それ以外の保育所へも通訳者を配置すれば、分散され待機児童の削減に繋がる可能性があるのではないか。
- 子育てや教育に関する支援はあるが、保育所等に入所するための書類の多言語版を作成してもらいたい。
- 母子手帳が必要な外国人市民が多いが、今まで多言語版の案内ができておらず、日本語版を持っている人もいた。多言語版のアナウンスをしっかり案内して欲しい。
- 保育園や小学校、中学校、高校の制度等の違いについて、説明を必要としている外国人市民は多い。
- 保育園に関して、いつ、どうやって申し込めばよいのか、何歳からあずかってもらえるのかを知らない外国人市民は多い。

スケジュール：

令和元年９月	担当課等に確認してもらい、日本語表記（案）作成
１０月上旬	八尾市外国人市民会議にて意見交換 多文化共生マネージャー（公益財団法人大阪府国際交流財団　吉川様）からアドバイスをもらう
１０月下旬	意見反映させたものを担当課で再度確認
１１月下旬	日本語表記を完成させ、イラスト等について検討 ベトナム語、中国語、英語の３言語に翻訳作業開始
１月下旬	リーフレットデータ完成
２月中旬	印刷→納品
３月以降	市民課や病院、外国人コミュニティ等に協力を依頼し、配布開始